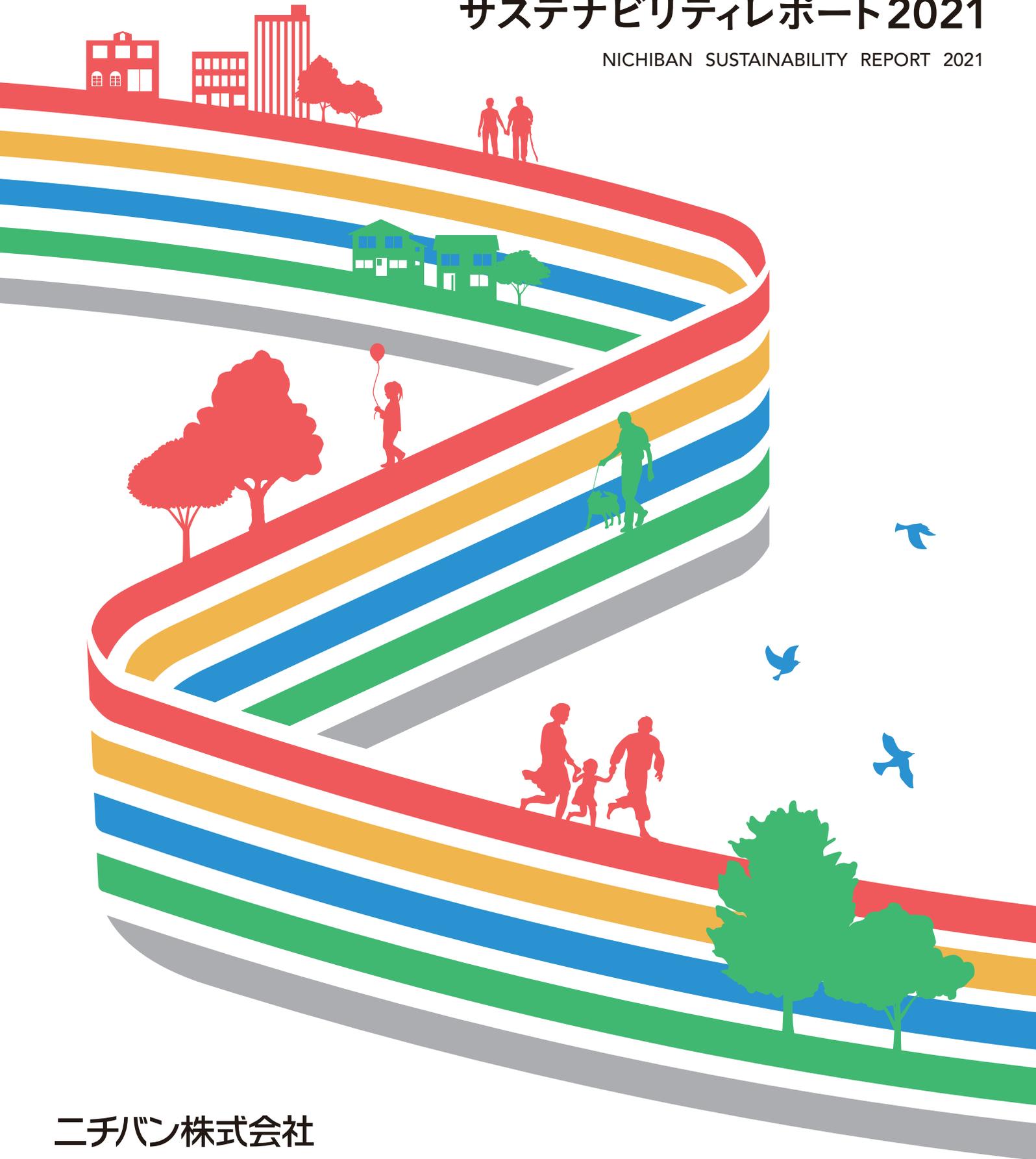




ぴったり技術で
明日をつくる

サステナビリティレポート2021

NICHIBAN SUSTAINABILITY REPORT 2021



ニチバン株式会社

ぴったり技術で 明日をつくる

ニチバングループの強みである粘着技術を活かして、将来にわたって快適で健康な生活に貢献していくという企業姿勢を表現しています。

ニチバングループの理念

〔創業の精神〕

和親協力・進取向上

〔基本理念〕

私たちは絆を大切にニチバングループにかかわるすべての人々の幸せを実現します

〔企業姿勢〕

粘着の分野を原点として新たな価値を創造する技術で快適な生活に貢献し続けます

〔行動指針〕

- **社会**
誠意をもって誰にでも誇れる仕事をしよう
- **お客様**
お客様にとっての「良いもの」を届けよう
- **チャレンジ**
失敗を恐れずまずやってみよう
- **スピード**
スピーディーに行動し時代を先取りしよう
- **チームワーク**
組織を超えて協力し最後までやり遂げよう

CONTENTS

P1 ー ニチバングループの理念

P2 ー トップメッセージ

P5 ー パフォーマンスハイライト

P7 ー ニチバングループのサステナビリティ

P9 ー 事業概況

P11 ー 本業の重要テーマ

P13 ー バリューチェーン内の重要テーマ

P15 ー バリューチェーンを支える重要テーマ

P15 ー コーポレート・ガバナンス

P16 ー コンプライアンス/リスクマネジメント

P17 ー ダイバーシティ推進と人財育成

P18 ー 労働安全衛生

P19 ー 地域・社会への貢献

P20 ー 会社情報/株式情報

編集方針：本報告書は、ニチバングループの活動の結果をご報告し、より多くの方々にニチバンの事業活動を知っていただくことを目的に発行しています。
報告対象組織：ニチバン株式会社/ニチバンプリント株式会社/ニチバンテクノ株式会社/ニチバンメディカル株式会社
報告対象期間：2020年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の活動を中心に、それ以前からの取り組みや、直近の報告も含んでいます。
発行：2021年9月

top message

世界の変化を的確に捉え、
柔軟な思考で成長に向けて
前進し続けます。

代表取締役社長 **高津敏明**

代表取締役社長

新たな視点で、成長への 基盤構築を進めました。

2020年度のニチバングループは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい事業環境にありましたが、中でも当社がこれまで培ってきた製品力や、新たに生み出した事業推進力により、中長期成長に向けた足がかりをつかんだ1年となりました。世界の状況が大きく変わっている中で、従来の常識にとらわれることなく変化し続けることが必要だと認識しています。

■メディカル事業

ヘルスケアフィールドは、救急絆創膏「ケアリーヴTM」シリーズが12月に過去最高の販売数となりました。鎮痛消炎剤「ロイヒ」シリーズは、新製品として「ロイヒ膏TMロキソプロフェン」を上市するなど、国内でのブランド定着に向けて動き出しています。医療材フィールドは、医療現場を直接訪問することが困難な中、webを介した新たな提案手法を構築しています。これにより、これまではアプローチしにくかった遠方のお客さまへの提案を実現しています。

■テープ事業

オフィスホームフィールドは、天然素材を主な原料とする「セロテープ[®]」や、家庭系食品ロス削減に貢献する「ディアキチTMワザアリTMテープ」、レジ袋に代わる「セロテープ[®]ストアテープ」など、製品を通じた社会課題への取り組みを活発化させています。工業品フィールドは、自動車の生産が世界的に停滞したことから、マスキングテープの需要が減少しました。

■海外事業

ヨーロッパで使用されていた産業用テープの需要が大幅に減少するなど、ロックダウンの影響を受けました。海外出張も全く行えない状況でしたが、医療現場と同様にweb商談を取り入れたことは大きな成果です。従来は商談に参加することが叶わなかった工場の技術担当者も同席し、お客さまが求める性能を直接お聞きするなど、新たな製品開発へのヒントを得ています。このほか、感染症の拡大により当社のメディカル製品への注目も高まっています。

イノベーション創出とグローバル展開を加速させていきます。

『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』の実現に向け、2019年度より5か年の中期経営計画【ISHIZUE 2023～SHINKA・変革～】(以下、中計)を推進しています。本中計では5つの取り組みテーマ^(図1)を設定し、その中でも「イノベーション創出」と「グローバル展開」を特に重視するテーマとしています。

■イノベーション創出

この2年間で既存ブランドにおける新製品は上市していますが、さらに大胆な取り組みが必要だと認識しています。そこで、当社の粘着技術を活かした新たな事業の創出に向け、アクセラレータープログラムをはじめとするオープンイノベーションに着手しています。今後は外部視点も取り入れながら、当社の技術力向上を図っていきます。

■グローバル展開

2020年10月に、ドイツのデュッセルドルフに販売子会社 NICHIBAN EUROPE GmbH を設立し、ヨーロッパ全域への販売拠点としました。今後は世界3拠点体制にてグローバル展開を加速させるべく、各国・地域の販売・市場育成を進めています。また、生産・販売・在庫機能のすべ

てを海外に置き、効率的に事業を推進することを目指し、業務提携やM&Aについても検討しています。海外での生産体制の構築に向けては、国ごとに要求が異なる製品データ開示への対応も進めています。

従来の海外市場はテープ製品を主軸としていましたが、アジア・東南アジアの給与水準の上昇にともなう医療体制の充実や、感染症対策への世界的な意識向上を背景に、医療材への注目が高まっています。その中でも日本製の品質は高く評価されており、当社にとっての事業機会だと認識しています。非常に大きな医療施設を有する中国、そして韓国市場も引き続き重視し、医療材やマスクングテープなどを積極的に展開する計画です。

■新組織体制

2021年度より、新組織体制へと移行しています。従来はテープ事業、メディカル事業という製品基軸の組織としていましたが、これを顧客基軸へと変更しました。当社の一般消費者向け製品「セロテープ®」や「ケアリーヴ™」等は、コンビニエンスストアやスーパー、ECサイトなど、今や買い場がシームレスになっています。今後は製品種別の枠をなくした営業販売戦略により、お客さまが必要な時に、いつでもどこでもご購入いただける環境を整備します。医療材と工業品は、医療関係者さまやメーカーさまのご要望を緻密にお聞きし、求められる性能を有する製品を開発・提供するべく、独立した組織としています。

▼(図1) 中期経営計画【ISHIZUE 2023～SHINKA・変革～】取り組みテーマ進捗



昨今の事業環境、および中計スタートから2年が経過したことをふまえ、現在、目標の見直しを進めています。ビジョンや5つの取り組み重点テーマはそのままに、細部の優先順位の調整と、財務目標の下方修正を行います。これまでの成果を検証し、次なる中期経営計画へとつなげるべく、2021年下期より新目標での中計を推進していきます。

サステナビリティ重要テーマを通じて、社会課題の解決に貢献していきます。

当社グループでは、SDGsと関連づけたサステナビリティ重要テーマを策定し、本業に関わる分野、ESG分野のそれぞれについて取り組みを進めています。

■本業の重要テーマ

2020年度は、「セロテープ®」の使用がCO₂削減につながることを広く訴求しました。脱炭素が世界的な課題とされる中、「セロテープ®」の価値を改めてご認識いただき、多くのお客さまに採用していただいています。また感染予防への貢献として、「チューシャパン™」の安定供給に注力しました。新型コロナウイルスのワクチン接種を見据えて順次増産し、2021年2月からはフル生産体制としています。工場働く社員も、絶対に在庫を切らしてはならないという強い使命感のもと、業務に従事しています。

■ESGの重要テーマ

太陽光発電の導入によるエネルギー効率化や脱溶剤など、CO₂削減に向けて着実に歩みを進めています。また、2010年より毎年実施している「ニチバン巻心ECOプロジェクト」は、廃棄物削減や資源循環に向けて今後も当社が大切にすべき取り組みだと、改めて感じています。

社会側面では、コロナ禍で大きな変化が求められた働き方や健康経営について、制度整備を含めた取り組みを推進しています。当社グループでは社員の健康を第一に時差出勤や在宅勤務を導入しており、テレワークが困難な生産現場でも密を回避する勤務体制を構築しています。テレワークは今後も継続する予定ですが、そこには時間管理やコミュニケーションなどの課題もあり、マネジメント力や自己管理力の向上が必須だと認識しています。感染症収束を見据え、これらの課題解決に取り組むとともに、これまでの



業務を改めて検証、スリム化を図っていきます。

ガバナンスについては、2021年3月より、取締役の指名・報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客観性を強化するべく、独立社外取締役を委員長とする「指名・報酬委員会」を新たに設置しました。次世代経営層の育成も本委員会での検討事項とし、適切なプログラムを構築していきます。また2021年度より、社外役員のみで議論を行う場を設けており、社外の視点による忌憚のないご意見をお聞きする機会としています。

ESGの取り組みについては、2021年に設置したサステナビリティ委員会において、当社グループの課題整理と、今後の方向性を総合的に検討していきます。

すべての人々の幸せの実現に向け、理念経営を継続していきます。

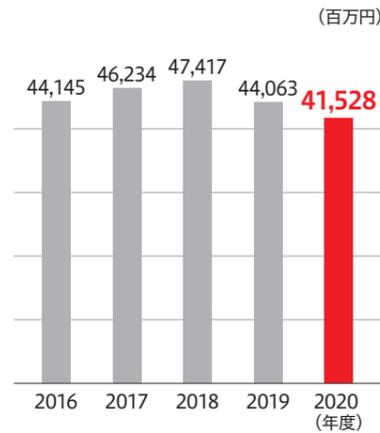
2019年より、ニチバングループの理念を基軸とする理念経営を実践しています。その中で私は、社員に対して「自分にとっての幸せとは何か」を問い続けています。「ニチバングループにかかわるすべての人々の幸せを実現する」には、まず自らの幸せを認識することが必要だと思うのです。中計においても、この2年間で理念の浸透、理念の「自分ごと化」を進めており、2021年度からは「実行」フェーズへと入っていきます。当社の製品があってよかったとお客さまに感じていただけるよう、そして製品を通じて社会に貢献できていることを社員が実感できるよう、今後も『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』の実現に向けた発信を積極的に行っていきます。そして、社員と会社とともに成長するという、当社グループの理想の姿を追求していきます。

パフォーマンスハイライト

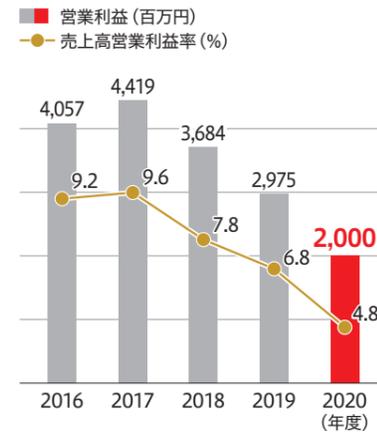
財務情報(連結)

※1 2017年10月1日付けで普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しています。
2016年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しています。

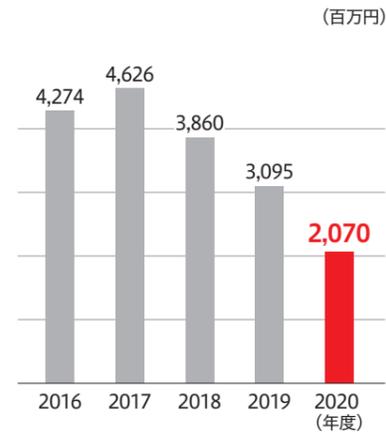
売上高



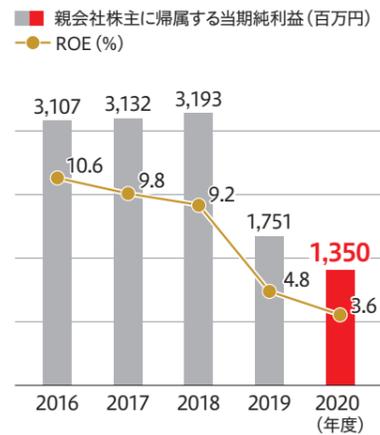
営業利益/売上高営業利益率



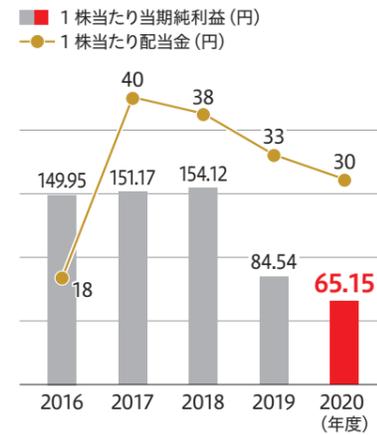
経常利益



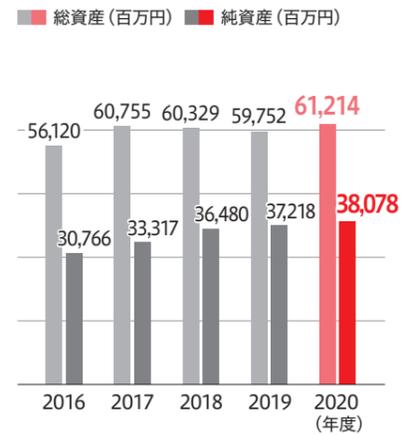
親会社株主に帰属する 当期純利益/ROE



1株当たり当期純利益*1/ 1株当たり配当金



総資産/純資産



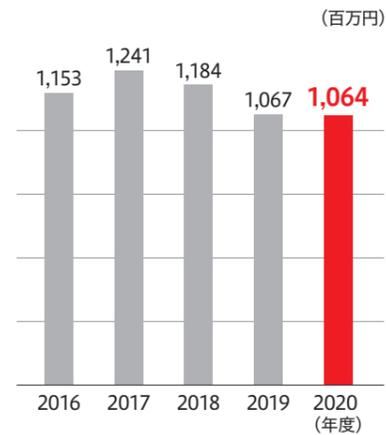
キャッシュ・フロー



設備投資額/減価償却費



研究開発費



非財務情報

※2 対象範囲: ニチバン株式会社 (CO₂排出量を除く)
※3 対象範囲: 安城事業所・埼玉事業所・国内グループ会社3社・本社

新製品上市点数

10点

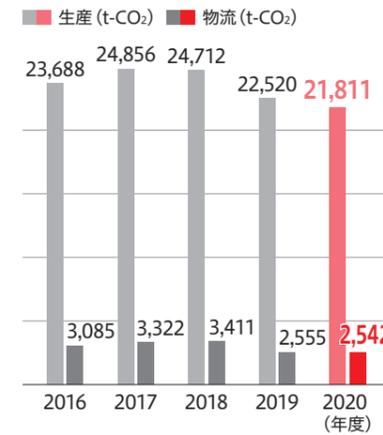
曲げると痛い指に貼ることで可動域を制限し、サポートできる指専用テーピング「バトルウィン™ 指プロテクター™」や、片手で使えるテープカッター「プッシュカット」を両面テープ・マスキングテープで新たにラインアップしました。

特許保有数

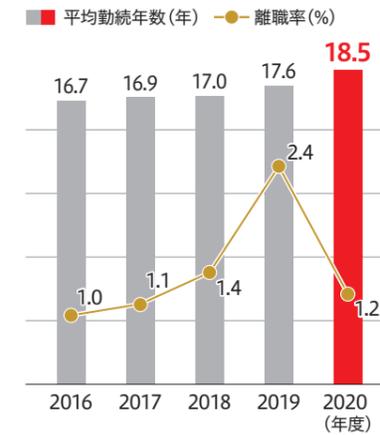
95件

他者の模倣を防ぎ独占実施をするために、新製品に対して1つ以上の特許等の権利保有を目指しています。

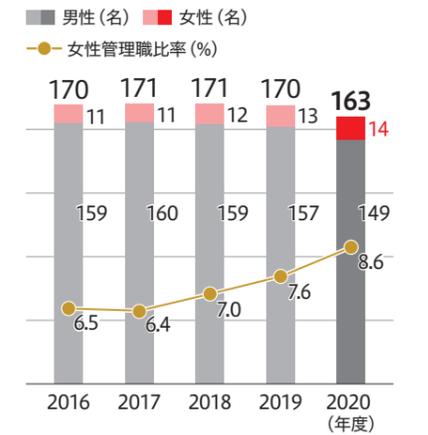
CO₂排出量



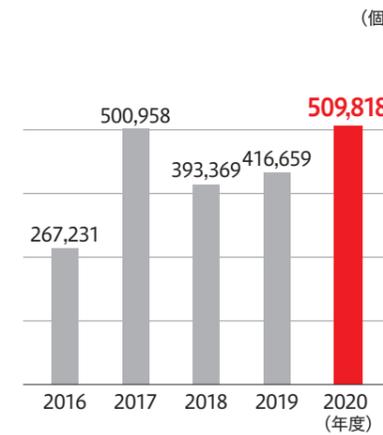
平均勤続年数/離職率



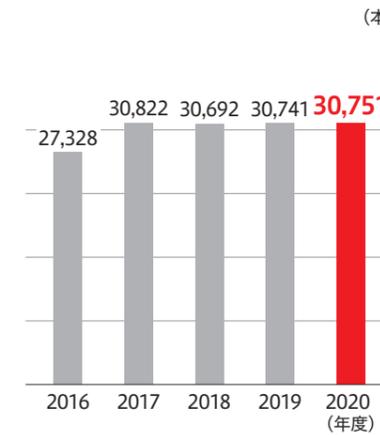
管理職の状況



巻心回収数



マングローブ植樹本数



社会貢献活動件数

15件

ニチバングループのサステナビリティ

ニチバングループでは「サステナビリティ重要テーマ」を策定しています。中長期ビジョン『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』実現の礎となる中期経営計画【ISHIZUE 2023～SHINKA・変革～】においても、すべての事業活動で「サステナビリティ重要テーマ」と紐づけた取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に向けて歩みを進めています。

サステナビリティ重要テーマ

本業の重要テーマ

関連するSDGs	重要テーマ	主な取り組み	関連するSDGsターゲット	取り組み事例紹介
3, 9, 12, 13, 14	セロテープが天然素材由来の製品であることによる環境課題への貢献	主な原料が天然素材であり、バイオマークを取得した、環境にやさしい循環型のエコロジー製品であることを訴求し、プラスチックフィルムなどを利用したテープとの差別化を実現	9.4, 12.2, 13.2, 14.1	P.11
3, 9, 12, 13, 14	絆創膏や止血製品、ドレッシング材による感染予防への貢献	感染予防に向けた止血製品の啓発活動	3.3	P.12
3, 9, 12, 13, 14	貼り薬を通じた医療への貢献	新たな貼り薬を開発し、疾病の治療や健康な生活の維持に貢献	3.4	P.12
3, 9, 12, 13, 14	粘着テープの使用による家庭系食品ロス削減に貢献	食品の袋の封止めだけでなく、食材の購入日や調理日、消費期限などをテープに記入し、ラベルとして使用することで、食品ロス防止を提案	12.3	P.11

ESGの重要テーマ

関連するSDGs	重要テーマ	主な取り組み	関連するSDGsターゲット	取り組み事例紹介
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	環境配慮製品の開発	環境・社会課題の解決に貢献する製品開発	12.5	P.14
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	環境配慮製品の開発	環境ラベルの取得	12.5	
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	環境負荷の低減	環境マネジメントシステムの運用	12.6	
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	環境負荷の低減	環境情報の開示	12.6	
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	・資源の枯渇への配慮	原材料の有効活用による廃棄物の削減	11.6, 12.5	P.13
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	・気候変動・地球温暖化対策	水の効率的利用および廃水処理の管理向上	6.3, 6.4, 14.1, 14.3	P.13
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	・気候変動・地球温暖化対策	エネルギー利用の効率化によるCO ₂ 排出量の削減	7.3, 13.3	P.13
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	・化学物質の適正な管理	原材料のグリーン調達推進	8.4, 12.2	P.13
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	・化学物質の適正な管理	新技術の創出による溶剤使用量の削減	6.3, 11.6, 12.4	
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	生物多様性保全	巻心ECOプロジェクトの植樹活動	6.6, 15.2, 15.3	P.14
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	生物多様性保全	小学校への出前授業による啓蒙活動	13.3	
4, 5, 8, 10, 11	製品の品質向上と安全の確保	品質マネジメントシステムの運用	—	P.14
4, 5, 8, 10, 11	製品の品質向上と安全の確保	顧客満足の向上	—	
4, 5, 8, 10, 11	ダイバーシティ推進と人財育成	女性活躍と障がい者雇用の推進	5.1, 5.5, 8.5, 8.8	P.17
4, 5, 8, 10, 11	ダイバーシティ推進と人財育成	将来の持続的成長を担う人財育成	10.2, 10.3	P.17
4, 5, 8, 10, 11	労働安全衛生と社員の健康への対応	次世代認定マーク取得による行動計画の推進	4.4, 4.5, 10.2	P.18
4, 5, 8, 10, 11	労働安全衛生と社員の健康への対応	従業員の健康管理	8.5, 10.3	P.18
4, 5, 8, 10, 11	地域・社会への貢献	事業所周辺地域とのコミュニケーション活動	—	P.19
4, 5, 8, 10, 11	地域・社会への貢献	障がい者支援	8.5	P.19
9, 16	コーポレート・ガバナンス	内部統制システムの整備	—	P.15
9, 16	コーポレート・ガバナンス	コンプライアンスの浸透(行動ハンドブックによる教育)	16.1	
9, 16	コーポレート・ガバナンス	内部通報窓口の充実	16.5	P.16
9, 16	リスクマネジメント	緊急時対応訓練の実施	9.2	
9, 16	リスクマネジメント	BCP・BCMによる安定供給体制の整備	9.2	P.16
9, 16	情報セキュリティ	IT統制の整備	—	P.16

バリューチェーンにおけるSDGsマッピング



中期経営計画【ISHIZUE 2023～SHINKA・変革～】

事業概況

顧客基軸の新体制により、中期経営計画を推進します。

2021年4月に、国内事業本部長に就任いたしました。私はこれまで、テープ事業とメディカル事業、そしてサプライチェーンの管理を含めた事業統括本部での業務に従事してきました。長らく営業畑にいましたが、その後に担当した事業統括本部では、一つの製品がお客さまの手に届くまでに、どれだけ多くの人に関わっているかを改めて実感するに至りました。新たな組織においては、すべての社員が製品に関するこの全体像を強く認識し、社会に貢献するという姿勢で日々の業務を遂行する風土を構築していきます。



取締役常務執行役員 原 秀昭

2020年度総括

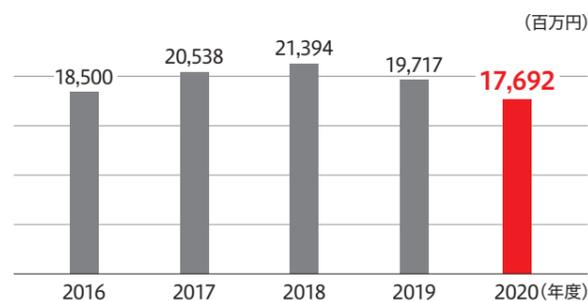
原点に立ち返った販売計画を実行するとともに、新たな営業手法を確立しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により事業環境が不透明な中で、当社では原点に立ち返り、一日ごとの数字を詳細に把握することを徹底しました。これにより、緊急事態宣言や規制緩和など、人流の変化を受けた販売実績のパターンサイクルを見極めることが可能となります。こうして蓄積した情報をもとに、製品品番ごとの展開を検討・推進しました。またコロナ禍にありながらも、webを通じた新たな営業活動やSDGsを起点とする製品展開など、中期経営計画で掲げた「進化・深化」と「変革」が形となって現れた1年になったと認識しています。

■メディカル事業

ヘルスケアフィールドは、ドラッグストアを中心にコンシューマー向け製品を展開しています。コロナ禍においてドラッグストアは生活の中心にあり、またアルコール消毒による手荒れやあかぎれに対する需要から、高機能救急絆創膏「ケアリーヴ™」が前年同期比で10%の増加となりました。しかし、海外からの人流が遮断されたことでインバウンド需要が消失し、鎮痛消炎剤「ロイヒつぼ膏™」は54%減となりました。

▼売上高



ました。これに対し、国内需要の拡大に注力しましたが、フィールド全体の売り上げは前年同期を下回りました。

医療材フィールドは、感染予防の観点から来院患者数や手術件数が減少し、絆創膏・ドレッシング・術後ケア製品の需要が減少を続けています。一方、止血製品はインフルエンザ予防接種や新型コロナウイルスワクチン接種等により、下期の需要が増加しました。



「インジェクションパッド」

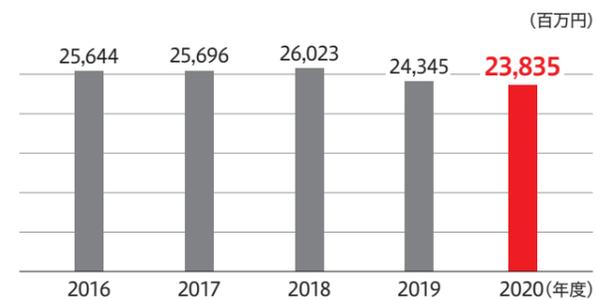


「ケアリーヴ™ 治す力™」

■テープ事業

オフィスホームフィールドは、「セロテープ®」や「ディアキチ™ワザアリ™テープ」シリーズをSDGsに貢献する製品として展開し、需要を喚起しました。これにより、「セロテープ®」は前年同期を上回り、「ディアキチ™ワザアリ™テープ」シリーズも前年同期並みを維持しています。しかし、在宅勤務が推奨される中でオフィス向け製品の需要が減少したことから、フィールド全体の売り上げは前年同期を下回りました。

▼売上高



工業品フィールドでも、「セロテープ®」シリーズが好調です。お弁当やお惣菜の蓋を固定する「セロテープ® フードパックテープ」は中食・内食の増加を背景に、また、お買い上げシールとして使用される「セロテープ® 別注印刷品」はレジ袋有料化を背景に、それぞれ前年同期を上回っています。しかし産業用テープ市場は、自動車メーカーの生産調整を受けた工業塗装用マスキングテープの低調など、厳しい事業環境となりました。



「ディアキチ™ワザアリ™ テープカットタイプ」



「セロテープ® フードパックテープ」

2021年度に向けて

国内事業本部では4つの指針をもとに、全体最適を図っていきます。

顧客基軸に沿った新たな提供価値を創出するべく、2021年度より「医療」、「ライフシーン(コンシューマー)」、「産業工場」、「グローバル」という4つの区分で事業を展開していきます。国内事業本部では右記の計画を実行していきますが、そのベースとして、4つの全体指針を掲げています。

①SDGsを中心とした社会貢献です。「セロテープ®」や「ディアキチ™ワザアリ™テープ」シリーズ、さらに「チューシャパン™」の安定供給など、当社グループとして社会にどのような貢献ができるかを常に意識しながら、財務とESGの取り組みを両立させていきます。

②生産計画、経理財務、受発注など、グループ会社も含めた一気通貫のシステム運用により全体最適を図るべく、20億円の投資を計画しています。

③適切なローテーションにより当社の事業全体を見渡せる人財を育成するとともに、各分野で能力を身につけた社員が異動先でその力を発揮できるよう権限の委譲を推進します。これにより、組織全体でのスピーディな進化・変革を

実現します。

④開発組織力の向上です。今後の当社には、経営目線で物事を捉える人財を育成し、その力を新たな開発や技術、事業創出につなげる組織力が必要です。国内事業本部に設置している製品開発部においても、個の開発から組織による開発へと体制を進化させています。

これらの指針をもとに個別施策を推進することで、中期経営計画の目標達成を目指します。

2021年度計画概要

- コンシューマー：BtoCブランドマーケティング強化
- ・ 「ケアリーヴ™」：国内No.1ブランド・シェア実現に向けて高品質訴求
- ・ 「ロイヒ」：「温感」による鎮痛消炎 国内認知度向上・新製品拡充・越境EC展開
- 「セロテープ®」：サステナブル社会に向けてSDGs推進
- 止血製品：感染対策への貢献、ワクチン接種需要対応
- 医療材・工業品：BtoB現場ユーザー課題の探索、解決に向けた新規提案活動推進

海外事業の2020年度成果と今後の方針は、トップメッセージをご覧ください。

本業の重要テーマ



「セロテープ®」で環境課題に貢献する 「Small Action For the Future」

発売から70年以上経つ「セロテープ®」は、当時から一貫して、主な原料に天然素材を使用してきました。テープ基材となるセロハンは木材パルプを原料としており、廃棄後は生分解によって土に還ります。また、粘着剤も天然ゴムと天然樹脂を主成分とするバイオマス製品であることから、カーボンニュートラルの考え方により、OPPテープと比較して焼却時のCO₂排出量を約7分の1に抑えることができます。

ニチバングループでは2020年度より、「セロテープ®」を通じたSDGsへの取り組みとして「Small Action For the Future」を開始しました。これは、企業や自治体などのお客さまに「セロテープ®」を採用いただくことで、パートナーシップによる循環型社会の実現を目指すものです。2021年7月末時点で88社のお客さまからの賛同を得ており、年間で277tのCO₂削減につながっています（OPPテープとの比較）。今後は全国10万^{※1}の小売店すべてにおいて「セロテープ®」を採用していただくことを目指すとともに^{※2}、「セロテープ®」を基軸とする用途開発を進め、使用シーンを増やしていきたいと考えています。

テープの1片1片は非常に小さなものですが、まずはそこから始めることが、いずれ大きな力になるとニチバンは考えます。「セロテープ®」の環境価値を、今、この時代に改めて強いメッセージとして発信し、多くの方に認知していただくことで、豊かな地球を未来につなぐ使命を果たしていきます。

- ※1 各種協会発表の店舗数より算出
- ※2 10万店がOPPテープから「セロテープ®」に変えた場合、プラスチック約1,670t/年、焼却時排出CO₂約6,300t/年の削減が可能であると試算



国内事業本部
工業品営業統括部
平山 繁明



ワクチン大規模接種に向けて、 「チューシャバン™」の安定供給体制を構築

「チューシャバン™」は、多くの医療施設で採血・注射後の止血・保護に使用されています。パッドや粘着面に触れずに衛生的に使用でき、また、1袋あたりの封入枚数を少なくして使い切りやすくすることで、医療現場の感染防止に寄与しています。このほか、血液吸収性に優れたパッド、皮膚刺激が少ない粘着剤、通気性に富んだ不織布素材のテープを採用することにより、患者さまに安心して貼付いただけます。

現在、「チューシャバン™」は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を行う医療機関や自治体などで多数採用されています。例年、インフルエンザワクチンの接種時期には増産対応をとってきましたが、今回のワクチン接種では、従来とは比較にならないスピードでの需要が予想されました。この状況下での製品安定供給は、国内止血製品市場でトップシェアを持つニチバングループの責務です。そのため、接種開始が発表される以前より、さまざまな情報をもとに「チューシャバン™」の増産体制を構築、接種開始後の急激な需要に対応しています。

当社グループの医薬・医療材開発の基本姿勢は、Safety（安全・安心）、Easy Operation（誰もが使いやすい）、Accuracy（信頼される確かな品質）です。今後も医療従事者との適切な情報提供を通じ、医療現場の人手不足を支える製品や、来るべき在宅医療の時代に向けた扱いやすい製品の開発に努めていきます。



国内事業本部
医療材営業統括部
猪瀬 徳

その他の取り組み

家庭系食品ロス削減に貢献

貼ってはがせる水に強いフィルム素材のテープ「ディアキチ™ワザアリ™テープ」を活用した社会実験を、自治体と共同で実施しました。その結果、テープに日付や内容を記入して保存容器などのラベルとすることで、食べ残しや直接廃棄への意識が高まることになりました。今後も製品の用途提案を通じて、食材を使い切る・食べ切ることによる家庭系食品ロスの削減に貢献していきます。



食品ロス全国大会 in 富山への出展



「ディアキチ™ワザアリ™テープ」

傷あととケアテープを通じた医療への貢献

傷あとに悩む患者さまを一人でも減らすことを目指し、「アトファイン™」を開発・提供しています。手術の傷は、皮膚が引っ張られることや衣類との摩擦により、赤く盛り上がり、目立つ傷あとになることがあります。これらの刺激から傷あとを保護する「アトファイン™」は、角のないウェーブ形状で貼っていても違和感が少ないため、ケアが必要な期間、貼り続けることが可能です。帝王切開や外科手術を受けた多くの患者さまにご使用いただいています。



1.5cmから最大20cmの傷あとまで対応できる、5つのサイズをラインアップ

バリューチェーン内の重要テーマ

原材料・サプライヤー・調達物流

原材料のグリーン調達の推進

ニチバングループでは、原材料に含まれる化学物質の管理について、独自のグリーン調達基準を設定し運用しています。ホームページにて「グリーン調達ガイドライン」[※]を公開し、サプライヤー（原材料メーカー）に向けてより強くその必要性を訴え、協力をお願いしています。環境問題への関心が高まる中、ますます厳しくなる国内外の含有化学物質

規制を遵守するべく情報収集に努め、最新の規制に対応してグリーン調達基準を見直しています。

年々増加するお客さまからの含有化学物質調査のご依頼に対し、迅速で正確な回答ができるよう、2021年度からは新たなシステムを導入し、社内体制の強化を進めています。

※ グリーン調達ガイドライン

https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/green_procurement/

製品製造

エネルギー利用の効率化によるCO₂排出量の削減

ニチバングループでは、CO₂排出量の削減に向け、エネルギー利用の効率化を進めています。生産性の向上（高速化、歩留り改善）や省エネ設備の導入、徹底した空調管理、エネルギー消費の大きい粘着剤塗布後の乾燥工程におけ

るエネルギー量のモニタリングなどを通じ、最小エネルギーでの運用に取り組んでいます。2020年度からは、太陽光発電の本格運用を開始しました。今後も自然エネルギーの活用を積極的に推進していきます。

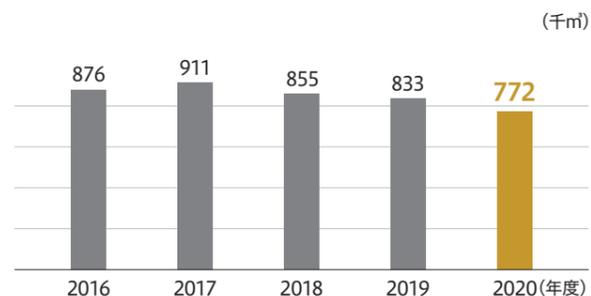
水の効率的利用・廃水処理の管理向上

水はあらゆる生命の源であり、社会経済活動に欠かすことのできない基礎的な資源の一つです。水資源の確保が世界的な課題となっている中、ニチバングループでも水使用量の削減や冷却水の循環利用などに取り組んでいます。

廃棄物の削減

ニチバングループでは2012年にゼロエミッションを達成して以来、サーマルリサイクルを含めた廃棄物処理業者によるリサイクルの実施により、廃棄物の99%以上をリサイクルするゼロエミッションを維持しています。

▼ 水使用量の推移



※ 対象範囲：国内3工場、国内グループ会社3社

※ 計測方法に一部誤りがあったため、年度を遡って数値を修正しています。

▼ 廃棄物排出量の推移



※ 対象範囲：国内3工場、国内グループ会社3社

「ニチバングループ環境方針」「行動指針」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/environmental_policy/
 「環境マネジメントシステム」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/environment/environmental_management/

溶剤使用量削減の取り組み

2018年度より、有機溶剤を使用しない製法を検討するプロジェクトを推進しています。これまで、糊を熱で溶かして粘着テープを製造する「無溶剤ホットメルト塗工方式」や、水を使用する「エマルジョン粘着剤」の技術開発を進めながら、環境負荷の低減効果を検証してきました。これらの製法は新製品に適用するほか、既存品への導入も進めています。

製品の品質向上と安全の確保

「ニチバングループ品質方針」[※]のもと、品質リスクを排除する体制強化を進めています。製品の開発、設計、製造段階で、不具合の発生を未然に防ぐ仕組みを構築するとともに、継続的な見直しを図っています。また万が一不具合が発生した場合には、その真因を追求し、徹底した再発防止策を講じています。安全で満足いただける製品を提供するには、お客さま視点が必要という考えのもと、生産部門全体で改善活動に取り組んでいます。

※ 「ニチバングループ品質方針」・品質マネジメントシステム

https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/quality_guarantee/

販売・製品の使用

環境配慮型製品の開発

「セロテープ®ストアテープ」は、2020年7月より全国でプラスチック製買物袋の有料化がスタートしたことを背景に、お買い上げ済み用シールとしての需要が高まっています。「セロテープ®ストアテープ」は、木材パルプを原料とするセロハン基材、天然ゴムや天然樹脂を主成分とするゴム系粘着剤、再生紙を用いた巻心など、天然素材を使用していることから、循環型のエコロジー製品として環境負荷の低減に貢献しています。



「セロテープ®ストアテープ」は、店舗で使いやすい7つのデザインをラインアップ

製品の廃棄

「ニチバン巻心ECOプロジェクト」による資源循環

ニチバンでは2010年より、「巻心ECOプロジェクト」に取り組んでいます。粘着テープは使い切ると必ず巻心が残る、残った巻心はゴミとして捨てられていました。このプロジェクトは、ご賛同いただいた全国の小学校や医療施設等から各種使用済み粘着テープの巻心を回収し、再資源化するものです。回収した巻心はダンボールにリサイクルするとともに、リサイクルによる収益金および当社からの支援金で、環境保全活動として国内外で植樹活動を実施しています。

第11回結果概要

期 間	2020年9月1日～12月25日
回収対象	完全に使い切った各種粘着テープの紙製の巻心（メーカー問わず）
回収した巻心数	509,818個
参加数	640団体（学校、企業、医療施設など）、個人341名
寄 付	リサイクルによる利益金および当社からの支援金で下記活動を支援・実施 <ul style="list-style-type: none"> ● フィリピンでのマングローブ植樹・メンテナンス活動 ● 江の川「森のしずく」保全活動

バリューチェーンを支える重要テーマ

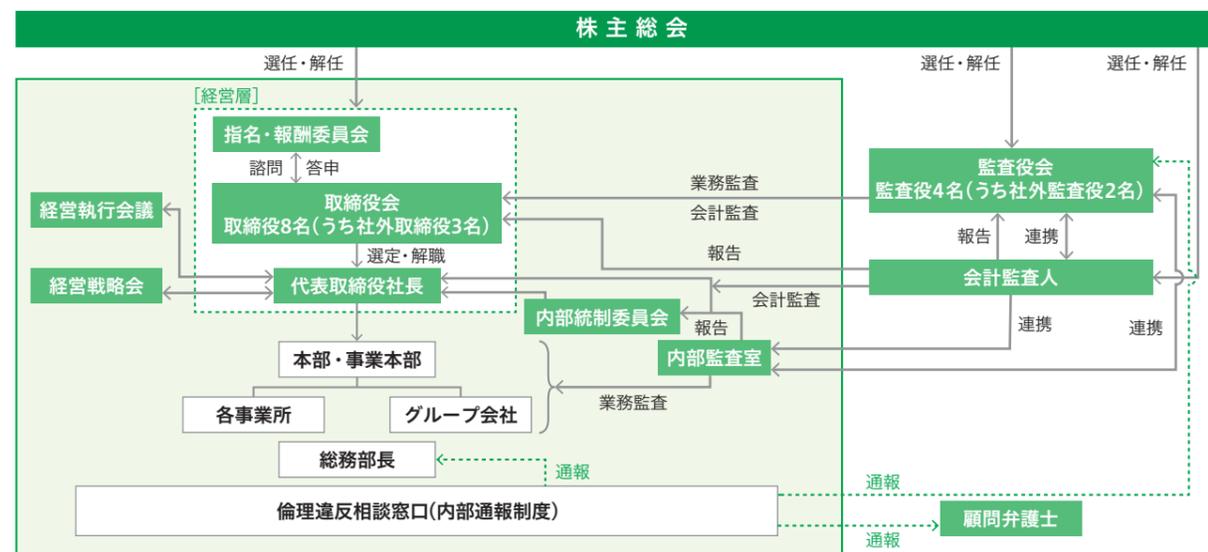
コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

経営体制および内部統制システムを整備・運用し、効率的かつ健全で透明性の高い経営を行い、信頼され期待される企業になるべく、コーポレート・ガバナンスに関する取り組みを進めています。監査役会設置会社を採用して複数名

の社外監査役を置き、グループ経営の職務執行状況の監督・管理を適切に行うとともに、IR活動を通じた財務情報の提供等により、各ステークホルダーとの有効な関係の維持に努めています。

▼コーポレート・ガバナンス体制



■取締役会

取締役8名(うち社外取締役3名)で構成しています。取締役の効率的な職務執行を確保するための体制の基礎として、月1回および必要に応じて臨時に開催し、定款および社内規定に基づく取締役会付議事項の審議決定のほか、経営重要課題の報告、月次・通期業績報告、中期経営計画の課題進捗、その他各取締役の職務執行における課題の報告と確認を行っています。(2020年度開催回数:17回 出席率:取締役100%、監査役98.8%)

■監査役会

監査役会は監査役4名(うち社外監査役2名)で構成し、会計監査人や社長直轄の内部監査室と連携しながら経営状態の監査を実施しています。また監査役は、取締役会その他の重要な会議に出席し、客観的かつ独立した立場で取締役の職務執行について監査を行っています。(2020年度開催回数:17回 出席率:97.6%)

■指名・報酬委員会

取締役会によって選定された3名以上の取締役で構成し、その過半数は独立社外取締役としています。また委員長は、独立社外取締役である委員の中から選定しています。取締役会の諮問に応じて、取締役および執行役員の選任・解任・解職に関する事項、取締役の報酬限度額に関する事項、取締役および執行役員の個人別の報酬等に関する事項、後継者計画に関する事項について、取締役会への助言・提言を行っています。

■内部統制委員会

社長を委員長とし、取締役、常務執行役員、上席執行役員およびその他臨時委員にて構成しています。内部統制に関する重要事項および改善事項の確認、適時開示や全社リスクマネジメントに関する審議を行っています。

マネジメント体制



■取締役

- ① 代表取締役社長
高津 敏明
経営全般
- ② 専務取締役
酒井 寛規
管理担当(兼)CSR担当
- ③ 取締役常務執行役員
原 秀昭
営業担当(兼)国内事業本部長
- ④ 取締役常務執行役員
高橋 泰彦
経営企画室長
- ⑤ 取締役執行役員
館野 英雄
生産担当(兼)生産本部長
- ⑥ 社外取締役
清水 與二
独立役員
- ⑦ 社外取締役
石原 達夫
独立役員
(重要な兼職の状況)
スプリング法律事務所代表
- ⑧ 社外取締役
佐藤 彰紘
独立役員
(重要な兼職の状況)
佐藤総合法律事務所代表

■監査役

- ⑨ 常勤監査役
高橋 一徳
- ⑩ 常勤監査役
富岡 和彦
- ⑪ 社外監査役
横井 直人
(重要な兼職の状況)
株式会社タケエイ社外取締役
株式会社ジェイエイシー
リクルートメント社外監査役
- ⑫ 社外監査役
児玉 安司
(重要な兼職の状況)
新星総合法律事務所代表

コンプライアンス

コンプライアンス・マインドを全社員で共有するべく「ニチバングループの倫理」※を定め、好ましい行動、避けるべき行動等の手引きとして「ニチバングループ行動ハンドブック」を配布しています。また、社内担当者および社外の顧問弁護士を直接の情報受領者とする「ニチバングループ倫理違反相談窓口」を設置し、法令・定款や社内規定の遵守を図るとともに、違反やそのおそれのある事実の早期発見に努めています。

※「ニチバングループの倫理」
https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/governance/#nav_anc2

リスクマネジメント

大規模災害などの緊急事態発生に備えた「緊急時対応規則」を定め、全従業員に「防災携帯カード」と「初動対応マニュアル」を配布するとともに、安否確認システムや災害用無線を使用した緊急時対応訓練を実施しています。また「ニチバングループBCP基本方針」※およびBCP規則を定め、BCP委員会を設置して、災害発生時と事業復旧・継続時の各段階でとるべき行動や対応策の検討を進めています。なかでも、製品の供給責任を果たすための原材料調達、製造、物流面の対策に注力しています。

※「ニチバングループBCP基本方針」
https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/governance/#nav_anc3

情報セキュリティは「ニチバングループITセキュリティ方針」をご覧ください。
https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/way_of_thinking/#anc02

バリューチェーンを支える重要テーマ

ダイバーシティ推進と人財育成

女性活躍推進

ニチバンでは、働き続ける施策は整備されているため「勤続年数に男女の差はない」が、「管理職比率に男女の差がある」という課題解決に向けて、第二期行動計画(2019年4月1日～2024年4月1日)を策定、取り組みを進めています。

ポジティブアクションとして、キャリア形成の機会が十分でなかった女性リーダー層への研修、また、ダイバーシティへの理解促進を目的とした全管理職への「多様性マネジメント研修」、役員への「働き方改革講話」を実施しました。ダイバーシティ教育は、引き続き若年層にも実施し、ニチバン全体の意識を高めていく計画です。今後も、男女にかかわらず誰もが活躍できる職場環境づくりを推進していきます。

女性キャリア研修参加者の声

キャリア研修では、広い視野を持ち、先を見据えた考え方を持つことの必要性を学びました。自分がなぜそのように考えるのかを見つめ直したり、他の参加者の考え方を聞いたりすることで、自分の思考のクセを認識するなど、さまざまな気づきを得ました。研修で学んだことを活かした組織運営に努めていきたいと考えています。



東日本受注センター長
廣田 陽子

▼ 社員の状況(単体)

		単位	2018年度	2019年度	2020年度
従業員数	男性	名	754	750	752
	女性		558	557	564
平均年齢(在籍人員)	男性	歳	40.6	40.9	41.9
	女性		40.8	41.0	42.2
障がい者雇用率*		%	2.24	1.99	2.15
育児休暇	男性	名	19	24	25
	女性		4	6	7
	復帰率	%	15	18	18
介護休暇・休暇	男性	名	100	100	100
	女性		4	1	0
	再雇用者数	名	3	0	0
有給休暇取得率		%	1	1	0
再雇用者数		%	46.5	55.8	53.0
再雇用者数		名	21	21	22

※ 各年6月時点

障がい者雇用の推進

ニチバンでは、障がい者とともに成長していく職場づくりを進めています。テープ安城工場では、障がい者のご家族とのコミュニケーション促進を目的に、仕事内容や職場の様子などを掲載した新聞「ステップ」を発行するとともに、本人がやりがいを持って働くことができる環境整備に取り組んでいます。

また、特別支援学校からのインターンシップ受け入れや、障がい者トライアル雇用などを行い、採用につなげています。

今後も多様な人財が活躍する企業を目指し、障がい者雇用を総合的に推進していきます。

将来の持続的成長を担う人財育成 ＜グローバル人財育成＞

ニチバンでは、専門性と創造性に富み、新たな領域にチャレンジできる人財の育成を目指しています。コロナ禍でも継続した人財育成を行うため、2020年度は階層別教育の大半をオンラインに切り替えました。

また、海外事業の拡大に向け、グローバル人財の育成にも注力し、通信教育や英語テストの費用補助に加え、公募による研修を開催しています。プログラムはオンラインで実施し、公募研修の選抜者とグループ会社であるNICHIBAN (THAILAND) CO., LTD.の社員が、ともにプレゼンテーションスキルを学び、その成果を発表しました。

グローバルチャレンジプログラム 選抜研修参加者の声

コロナ禍によりオンラインでの交流が増えていく中で、ネイティブ講師からコミュニケーションやプレゼンテーションスキルを学べる研修内容に魅力を感じ、応募しました。課題として設定したタイのニーズ調査と新製品提案に向け、現地社員の方と協力しあうことで、異文化から刺激を受けるとともに、海外を身近に感じることができました。



先端応用研究所
伊藤 朋紀(写真右上)

労働安全衛生

雇用環境の整備

ニチバンでは、社員が仕事と生活を調和させ、その能力を十分に発揮できるよう雇用環境の整備を行うことで、社員と会社がともに成長していくことを目指しています。

ワークライフバランス推進に向けては、私傷病のための制度や子育てのための制度、家族の介護のための制度を整備するとともに、社会貢献活動のための「ボランティア休暇」、勤続10

年ごとに取得できる「リフレッシュ休暇」などを設けています。

また、「一般事業主行動計画」への取り組みは、東京労働局長より基準適合一般事業主としての認定を受け、「次世代認定マーク」(愛称:くるみん)を取得しています。すべての社員がいきいきと働けるよう、引き続き第6期行動計画(2021～2023年度)を策定し、多様な働き方の導入を推進していきます。

▼ 第5期行動計画成果と第6期行動計画

目標	第5期行動計画成果(2018年4月1日～2021年3月31日)	第6期行動計画(2021年4月1日～2024年3月31日)
育児等を行う社員の仕事と家庭生活の両立を支援するための雇用環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 労使にて育児休暇ガイドブック(制度編/手続編)を作成し、社内イントラにて周知 ● 3年間に16名の男性社員が育児休暇を取得(前期は4名) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 柔軟な働き方ができる制度の導入と環境の整備 ● 育児に関する諸制度(関連法規・社内制度)の周知啓蒙 ● 男性社員の育児休暇取得促進に向けた取り組みの検討、実施 ● 女性活躍支援措置の実施
所定外労働時間削減、年休取得促進への施策推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 在社時間や時間外労働のデータを毎月社内イントラに公開、労働時間削減につながる改善活動を継続実施 ● 2019年4月より、期初に本人が年休取得希望日を指定する「個別時季指定年休」を運用することで、年休取得率が向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤怠管理システムにおけるデータの管理、周知方法の見直し ● 勤怠データを活用した時間外労働の削減 ● 年休取得率向上に向けた取得促進の推進
若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 2018～2020年度にインターンシップを実施、延べ260名が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● インターンシップを定期実施

労働災害防止

中央安全衛生委員会を年2回開催し、労働災害の発生内容を確認しています。2020年度は7件の労働災害が発生し、うち1件は重大事案になったことを受け、再発防止に向けて発生の原因である作業工程の見直しを速やかに行いました。このほか、安全体感教育などの講習を定期的実施しています。引き続き、労働災害防止に積極的に取り組み、安全な職場づくりを進めていきます。

安全講習会参加者の声

講習会では、安全を確保した状態で危険を疑似体験することで、危険に対する感受性を鍛えることができました。溶剤の燃焼・爆発の安全体験では爆発の衝撃を肌で感じ、エアシリンダーの安全体験では残圧の怖さを知りました。職場での危険源を認識し、危険を他者へ発信・共有することで、事故を未然に防ぐよう努めています。



テープ安城工場 工務センター
渡邊 広泰

社員の健康管理

ニチバンでは、ストレスチェックテストや定期健康診断の受診を徹底し、社員の心身の不調を早期に見発見できるよう取り組んでいます。また、特定健診の結果により対象となった社員には、健康保険組合と連携して特定保健指導への参加を強く呼びかけています。

新型コロナウイルス感染症を受け、社員とご家族の健康を守るべく、時差出勤と在宅勤務を暫定的に導入し、通勤時および就業時の密を回避しています。今後は感染症の収束も視野に入れ、各種制度設計を進めていきます。

バリューチェーンを支える重要テーマ

地域・社会への貢献

障がい者支援

発達に課題を抱える児童に「芸術の楽しさ」や「作品づくりの面白さ」を知ってもらうことを目的に、セロテープ®工作のワークショップを年4回を目標に開催しています。2020年度は、セロテープ®工作監修者であり、世界で唯一のセロテープアート®作家である瀬畑亮氏の指導のもと、動物や花などの立体物づくりに挑戦しました。新型コロナウイルス感染症の予防対策としてリモート開催としたことで、支援学級教室に通う子どもから大人の方々まで、より多くの方にご参加いただくことができました。



みんなのセロテープ®工作ワークショップ

森の保全活動

日本製紙株式会社の江津工場（島根県江津市）で「セロテープ®」の素材であるセロハンの主原料となる溶解パルプを生産していることから、近郊の江の川流域（島根県邑智郡）に広がる同社の社有林の一部において、「森のしずく」保全活動※1を実施しています。これは植樹や間伐など適切な手入れを行うことで、空気や水をきれいにし、土砂災害を防ぐなど、森の本来の力を高めるための取り組みです。

また「ニチバン巻心ECOプロジェクト」開始時より、環境NGO『イカオ・アコ』が1997年から実施しているフィリピンでのマングローブ植樹・メンテナンス活動※2を支援しています。ネグロス島・ボホール島各地に植樹した計約130万本のうち、ニチバンでは20万本以上の植樹に協力しています。



フィリピンでのマングローブ植樹(2021年3月実施)

※1 国内植樹第3回は、新型コロナウイルスの感染予防のため中止とし、2022年に延期しました。
 ※2 現地スタッフ協力のもと感染予防に努めながら、2020年5月より徐々に活動を再開しています。

事業所周辺地域とのコミュニケーション

テープ安城工場は、2021年4月9日に安城市立梨の里小学校にて、連れ去り犯罪などから身を守る合言葉『つみきおに』を、同校の新小学1年生に伝える啓発活動を安城警察とともに行いました。企画段階から携わり、『つみきおに』をラベル表示した「小巻セロテープ®」も贈呈しています。

- つ ついていかない
- み みんなといつも一緒
- き きちんと知らせる
- お おおごえで助けを呼ぶ
- に にげる



贈呈した「小巻セロテープ®」のラベル貼りとパック詰めは、テープ安城工場の『Steps(障がい者雇用)』が担当

会社情報 / 株式情報 (2021年3月31日現在)

会社概要

- 商号 ニチバン株式会社
- 創業 1918年(大正7年)1月
- 本社所在地 〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号 TEL.03-5978-5601
- 代表者 代表取締役社長 高津 敏明
- 資本金 5,451百万円
- 売上高 41,528百万円(連結)
- 従業員数 1,260名(連結)
- グループ会社 ニチバンプリント株式会社
ニチバンテクノ株式会社
ニチバンメディカル株式会社
NICHIBAN(THAILAND)CO., LTD.
NICHIBAN EUROPE GmbH
- 関連会社 UNION THAI-NICHIBAN CO., LTD.
大東化工株式会社
株式会社飯洋化工

株式の状況

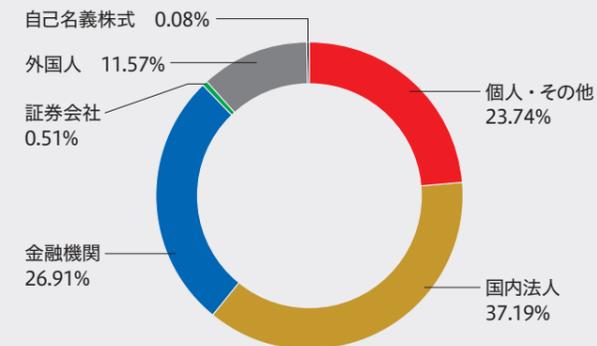
- 発行可能株式総数 70,000,000株
- 発行済株式の総数 20,738,006株
- 株主数 9,715名

大株主

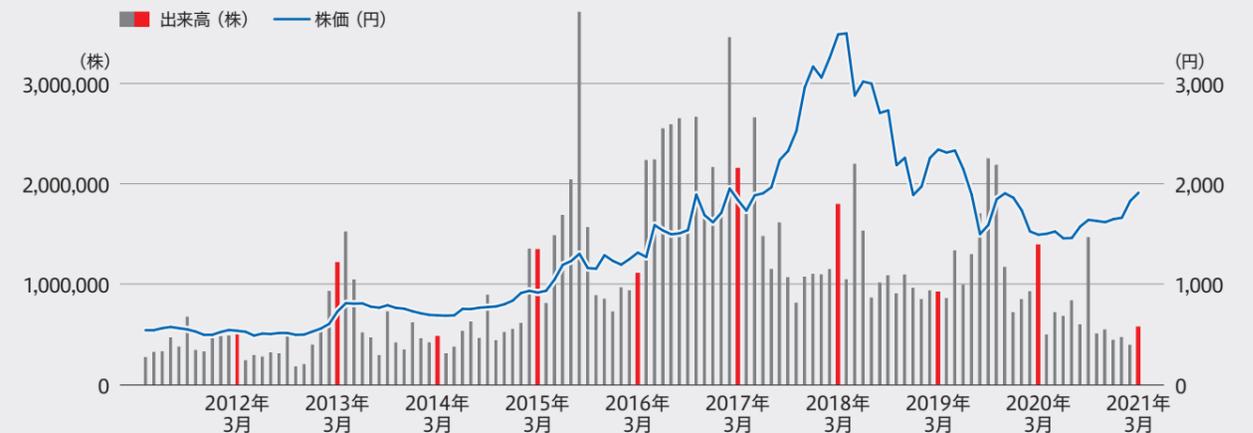
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大鵬薬品工業株式会社	6,758	32.61
ニチバン取引先持株会	1,155	5.57
株式会社三菱UFJ銀行	1,034	4.99
株式会社みずほ銀行	1,034	4.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	652	3.15
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	540	2.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	356	1.72
Northern Trust Co.(AVFC)Sub a/c USL Non-Treaty	313	1.51
株式会社りそな銀行	288	1.39
第一生命保険株式会社	277	1.34

(注)1. 持株比率は自己株式(16,822株)を控除して計算しております。
 2. 株主名は、2021年3月31日時点での登録名称を表記しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



※ 2017年10月1日付けで普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しています。株式併合以前の株価は、株式併合後の値に調整しています。

2020年度 事業ハイライト

2020年

5月 **企業活動** フィリピン西ネグロス州シライ市ランタッド村ダブダブ地区にて、600本のマングローブ植樹を実施

6月 **新製品** 糊残りさせたくない場所への一時固定に便利な「フィルムクロステープ養生用」から半透明タイプ発売

企業活動 「梅雨時季の体のだるさ・重さ・コリ」、「梅雨時季の脚のむくみ」に関する意識・実態調査のレポートを公表(20~40代の女性会社員300名を対象に実施)

8月 **新製品** 手術後の傷あとを保護する専用ケアテープ「アトファインTM」から、内視鏡手術などによる1.5cm以下の傷あとに対応するSSサイズ発売

9月 **企業活動** 「第11回 ニチバン巻心ECOプロジェクト」をスタート

新製品 復刻の要望が多かった片手で使えるテープカッター「ハンドカッター」の改良復刻版として、「ナイスタックTM プッシュカット」と「マスキングテープ プッシュカット」発売

新製品 「バトルウィンTM」より、曲げると痛い指関節の可動域を制限しサポートする指専用のテーピングテープ「バトルウィンTM 指プロテクターTM」発売

新製品 鎮痛消炎剤「ロイヒ」シリーズの冷感タイプ「ロイヒつぼ膏TM クール」(第3類医薬品)から、レギュラータイプの約2倍の面積となる大判サイズ発売

10月 **企業活動** ドイツのデュッセルドルフに販売子会社 NICHIBAN EUROPE GmbH を設立

企業活動 さいたま市が推進する食品ロス削減プロジェクト「チーム Eat All」に参画

企業活動 オープンイノベーションにより新規ビジネスを創出する『ニチバンアクセラレーター2020』を開始

11月 **新製品** 「ロイヒ」シリーズから、優れた鎮痛消炎成分ロキソプロフェンナトリウム水和物を配合した「ロイヒ膏TM ロキソプロフェン」と「ロイヒ膏TM ロキソプロフェン大判」(第2類医薬品)発売

2021年

1月 **企業活動** 「天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会」に特別協賛

新製品 「セロテープ[®] 小巻収納カッターつき」を「まっすぐ切れるタイプ」へとリニューアル

2月 **新製品** 和紙の柔らかい質感が特長のマスキングテープ「プチジョアTM マスキングテープ」に、「ラテカラー」など新6色をラインアップ

3月 **新製品** 傷あとケアブランド「アトファインTM」シリーズから、塗るだけで簡単に傷あとがケアできるクリームタイプの「アトファインTM クリーム」(第2類医薬品)発売

新製品 高透湿性フィルムドレッシング「カテリープラスTM」シリーズより、カーブ状にプレカットした「カテリープラスTM カーブ」発売

ニチバン株式会社

〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号

TEL. 03-5978-5601 FAX. 03-5978-5620

<https://www.nichiban.co.jp/>

ご意見・ご質問は、下記までお願いいたします。

経営企画室 広報宣伝部

TEL. 03-6386-7190 FAX. 03-6386-7191

®は登録商標、TMは商標です。